

12 乱形石の施工方法

(アースウォーツ/桂林/ラジャスターン/ソレアド/カミニート/ジャワ鉄平/アクバル/ソルンフォーヘン)

「乱形石」カラーページP.208～215

〈 施工方法 〉

① 路盤施工

クラッシュラン(C-30またはRC-30)を、仕上がり高さを考慮して厚さ100mmになるよう十分に締固めを行い、平坦な路盤を作ります。排水勾配は必ず路盤で確保してください。

P.18参照

② 下地コンクリート打設

設計図に従い、下地コンクリートを打設します。

③ 下地施工

コンクリート面の十分な清掃を行い、適度に散水してください。敷きモルタルを30～50mm厚にならし、下地を作ります。その際、敷きモルタルは締固めないでください。勾配は敷きモルタルで調整せず、必ず下地コンクリートで行ってください。

④ 仮並べ

色幅、厚みにばらつきがありますので、仮並べ、ミキシングをし、色調、平面バランスの確認をします。

⑤ 貼り付け

敷きモルタルの上にセメントペーストを用いて石をたたき押さえながら、締固め貼り付けをします。

⑥ 目地詰め仕上げ

適切な目地幅を確保してください(通常10～30mm程度)。目地詰めは乾燥を確認してから行ってください。目地材はモルタル(セメント:砂=1:2(容積比))を現場調合し、使用してください。目地詰めの際は、割肌の表面にモルタルが残らないように拭き取りを十分に行ってください。

—必ずお読みください—

白色系石材施工時のご注意

アースウォーツ「マドラス」色等のホワイト系石材をモルタルで施工する場合は、必ずホワイトセメントをご使用ください。普通セメントを使用すると黄変が発生することがあります。また、砂は白色珪砂、水は水道水をご使用ください。目地については、下表の配合の白色モルタルか、市販の石材用目地材をご使用ください。

表12-1 白色天然石のモルタルの調合

	ホワイトセメント:珪砂
床敷モルタル	1 : 3
壁・貼付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

※容積比(かさ比)

▲ご注意

- ・剥離しそうな層は、施工前にあらかじめ剥がして施工してください。
- ・石の表面には凹凸が存在するので、平面調整をする場合には、剥がして施工してください。
- ・施工目地幅や施工方法により、ロスが発生します。

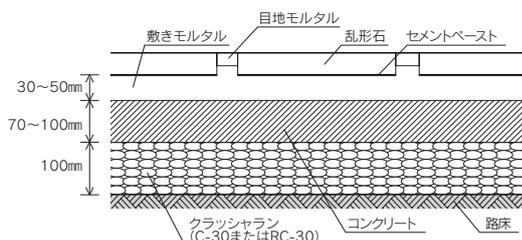


図12-1 乱形石参考施工図